

地域発展 貢献たたえ

平成23年度つがる市表彰式

地方自治の発展や社会福祉の向上に貢献した方の功績をたたえる「平成23年つがる市表彰式」が11月1日、市生涯学習交流センター「松の館」で行われました。今年度の受賞者は褒賞1人、特別功労賞2人、功労賞10人。式典では、福島市長が受賞者一人一人に表彰状と記念品を手渡し「皆様の顕著な功績に敬意を表します。これからも識見と経験を生かして、市発展のためにご支援をお願いします」と式辞。受賞者を代表して今彰造さんが「盛大な表彰式で栄誉ある賞を頂き感激の極みです。今後も市の発展に尽くしたいと思います」と謝辞を述べました。



褒賞

市民または市に縁故の深い人で、福祉、勤業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、功績が特に卓越し、顕著であった人に贈られます。

今 彰造 氏

(63歳・木造下福原)



平成4年3月から平成23年2月まで木造町議会議員およびつがる市議会議員として5期18年の永きにわたり在職し、平成21年6月から平成23年2月までつがる市議会議員長を務めるなど、公共の福祉の向上と地方自治の振興発展に大きく貢献した。

特別功労賞

市民または市に縁故の深い人で、福祉、勤業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、多年にわたりその功績が顕著であったり、特に市民の模範となるべき人に贈られます。

小笠原 昇平 氏

(81歳・木造種取)

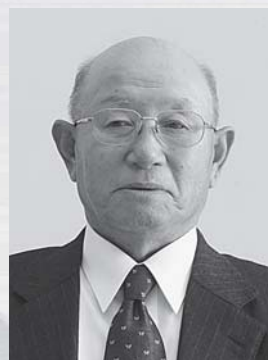
花号 小笠原 一秀



昭和24年浅草遠州一濤流に入門して以来永きにわたり華道に精励し、昭和35年に家元を継承。平成23年10月現在青森県内で華道家元はただ一人。華道関係の要職にあり華道の普及と後進の育成に努めるなど文化の発展に大いに貢献している。

傳法谷 謙一 氏

(79歳・木造出野里)



昭和51年3月から平成23年2月まで木造町議会議員およびつがる市議会議員として9期34年の永きにわたり公共の福祉の向上と地方自治の振興発展に大きく貢献した。

功労賞

市民または市に縁故の深い人で、福祉、勤業、地方自治、教育、文化などの各分野において市の発展に寄与し、優れた功績のあった人に贈られます。



山谷 仁氏
(57歳・森田町上相野)

平成3年4月から平成23年2月まで森田村議会議員およびつがる市議会議員として5期19年にわたり在職し、平成21年6月から平成23年2月までつがる市議会副議長を務めるなど、地方自治の振興発展に貢献した。



工藤 定一氏
(86歳・柏広須)

昭和46年4月から平成23年3月まで柏村行政連絡員およびつがる市行政連絡員として31年にわたり在職し、行政運営に貢献した。



石田 孝一氏
(70歳・木造菊川)

平成元年3月から平成21年2月まで木造町農業委員会委員およびつがる市農業委員会委員として8期19年にわたり在職し、地域農業の振興発展に貢献した。



成田 徳一氏
(75歳・富蒔町)

昭和55年12月から平成22年11月まで車力村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として30年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



江良 武美氏
(68歳・木造兼館)

昭和58年12月から平成22年11月まで木造町民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として27年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



木村 正孝氏
(65歳・木造菰槌)

昭和58年12月から平成22年11月まで木造町民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として27年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



工藤 幾子氏
(76歳・車力町)

平成3年4月から平成22年11月まで車力村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として19年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



工藤 悦子氏
(69歳・車力町)

平成3年10月から平成22年11月まで車力村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として19年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



佐藤 朋子氏
(71歳・森田町床舞)

平成6年1月から平成22年11月まで森田村民生委員児童委員およびつがる市民生委員児童委員として16年にわたり在職し、地域福祉の向上に貢献した。



成田喜三郎氏
(60歳・柏下古川)

昭和49年4月から平成22年7月まで柏村消防団員およびつがる市消防団員として36年にわたり在職し、地域住民の生命財産の保護に努め、消防行政の発展に貢献した。